



私たちの 思い出の場所

レストラン&カフェ

ひいらぎ 北川昭和さん

名物ママから受け継いだ65年の歴史

深夜までステーキやトルコライスが食べられるレストランとして、1960年に創業しました。今年で65周年を迎えます。創業者である私の母は、豪快かつ強烈な個性の持ち主でした。卒業生の皆さんの中には、「名物ママの洗礼を浴びた」という方も、少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか。

今となっては笑い話かもしれませんが、母が残した逸話の中にはこんなエピソードがあるんですよ。ある日、医学部の学生さんが店内で勉強をしていました。



SNSを通じてうわさが広がった開運オムライス。「県外や海外のお客さまが増えました」と北川さん。

集中するあまり、時間がたったことに気付かなかったのでしょう。見かねた母は照明を落として、皮肉たっぷりにこう告げたのです。「目が悪くなるわよ!」。

店は30年ほど前に私が引き継ぎました。現在はコーヒー豆の焙煎やオムライスの調理など一人で切り盛りしていますが、アルバイトがいた頃は長大学生の皆さんにお世話になっていました。医学部、薬学部、経済学部などいろいろな学部の学生さんが働いてくれましたが、早朝にイベント出店を控えていた前夜、

寝坊しないように店の長椅子で寝泊まりしてくれた歯学部の学生さんのことはよく覚えています。また先日は、助教になった元アルバイト生がご家族を連れて遊びに来てくれました。こういったささやかな出来事が、日々の励みになっています。

店がある浜口商店街は、思案橋に次ぐ長崎第2の繁華街と



浜口商店街のメインロードに店を構えて65年。こちらは懐かしい改装前の店舗。

して活気あふれる町でしたが、コロナ禍を境にめっきり人通りが少なくなったように感じます。卒業生の皆さん、長崎を訪れた際にはぜひ浜口へ。時が止まったような店内で学生時代の思い出に浸ってください。おいしいコーヒーとオムライスを用意してお待ちしています。



若かりし頃の母・静和さん。

アンケートのご協力をお願い

以下を明記の上、広報紙Chohoへのご意見・ご感想をお寄せください。

- ①面白かった記事
- ②本紙に対するご意見・ご感想
- ③今後取り扱ってほしい内容
- ④長崎大学からの情報発信全般についてのご意見・ご感想
- ⑤本学とご関係
- ⑥年齢
- ⑦氏名(ふりがな)
- ⑧郵便番号
- ⑨住所
- ⑩電話番号



◎はがき：〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学広報戦略本部 宛て

◎FAX：095-819-2156 ◎メール：kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp

◎募集期間：2025年6月末まで

読者プレゼント

アンケートにご協力いただいた皆さまの中から、抽選で10名様に、長崎大学オリジナルQUOカード(500円分)をプレゼントします。賞品の発送は2025年7月を予定しています。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



Choho

直接送付サービス受付中!



広報紙Chohoはその多くを、各学部同窓会様の会報誌送付の際に、直近の号のみ同封してお送りしています。そのため、読者の皆さまには必ずしも毎号お届けできないケースがあり、「前号も読みたい」、「定期送付をしてほしい」といったお声をいただいております。そこで、ご指定の住所へChohoを直送するサービスを行っています。

上記サイトへアクセスしていただき、ご登録をお願いいたします。皆さまのご利用をお待ちしております。

編集後記

最近ではキャンパスを歩くと、留学生の姿をよく見かけます。それもそのはず。新型コロナウイルス感染症が流行していた時期に比べ、長崎大学に来る留学生の数は大幅に増えています。一時は、留学先にいた学生が帰国を余儀なくされることもありましたが、再び世界を行き来できるようになった今に、安堵と希望を感じます。

そこで今回は、「留学」の魅力や価値に改めて目を向けるため、海外へ飛び出した日本人学生、そして遠く海を越えて日本にやってきた留学生にお話を伺いました。

取材の中で感じたのは、留学とは、単に異国の地で学問を学ぶだけではないということです。新しい環境に飛び込み、自分の価値観を揺さぶられながら、仲間に出会い、時にはハプニングも乗り越えて、自らを高めていく経験そのものが留学の本質ではないでしょうか。

グローバル化が進む今、学生たちが国際的な視点を持ち、世界へ羽ばたいていくことは、未来にとって大きな財産になります。そんな彼らの挑戦を、皆さまにも温かく見守り、ご支援いただければ幸いです。

(広報戦略課 中村優花)

長崎大学SNSサイト



X



Facebook



Instagram



YouTube

訂正のお知らせ

前号に誤りがありましたので訂正します。5ページ右下「魚の町」街区表示板のキャプション部分

(誤) 魚の町(うおのまち)

(正) 魚町(うおまち)

